

# 令和6年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学Ⅱ 演習		講義・演習	荒木 渚	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
本科目では、クロスシリンダーを用いた乱視矯正の原理を理解し、技術を習得することを目的とします。				
授業の到達目標				
①クロスシリンダー法の原理を説明できる。 ②正しい手順で検査を実践できる。				
授業計画				
回	内容			
1	復習プリント（視力検査、球面レンズ矯正）【講義】			
2	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がない時【講義】			
3	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がない時①【演習】			
4	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がない時②【演習】			
5	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がない時③【演習】			
6	クロスシリンダー法 赤緑試験を利用する方法【講義】			
7	クロスシリンダー法 赤緑試験を利用する方法①【演習】			
8	クロスシリンダー法 赤緑試験を利用する方法②【演習】			
9	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がある時【講義】			
10	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がある時①【演習】			
11	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がある時②【演習】			
12	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がある時③【演習】			
13	クロスシリンダー法 他覚的屈折検査結果がある時④【演習】			
14	まとめ①【演習】			
15	まとめ②【演習】			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	20%	演習レポートにより理解力、表現力を評価します。		
小テスト				
平常点	20%	授業に取り組む姿勢、積極性を評価します。		
その他	60%	実技試験により習熟度を評価します。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
目でみる 視力・屈折検査の進めかた 第2版増補	所敬 他	金原出版		
視能学エキスパート 光学・眼鏡 第2版	松本富美子	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬	金原出版		
理解を深めよう視力検査屈折検査	所敬 他	金原出版		
自由記載				
備考				